

問10 「楽しみや生きがいづくりへの効果」

事業は、高齢者の楽しみや生きがいづくりに効果的であったと思いますか。

		度数	列の N %
楽しみや生きがい づくりへの効果	大変効果的であったと思う	10	38.5%
	やや効果的であったと思う	15	57.7%
	あまり効果的とは言えなかった	0	.0%
	全く効果的とは言えなかった	1	3.8%
	わからない	0	.0%
	合計	26	100.0%

問10-① 問10に対しての意見等を具体的にご記入ください。

q10-1f

・アンケートを2回程とった際の情報から楽しみであるとの回答が多かった。 ・回を重ねるごとの表情や、茶話会時の会話のはずみ方。 ・バス旅行がとても楽しかったと次の機会への期待が高まっている

・ひろば終了後一緒に参加している友達同士で昼食を食べている。 ・家で作った物等をおすそ分け

・マッサージを初めて経験した人もおり、毎回るのが楽しみであるとの声があった。 ・地域の仲間と地域のひろばの色々な企画に参加できるので楽しみであるとの声があった。

・地域の方々が「今度は何だろうか?」と思ってくださることや、友達を連れてきてくださることが、楽しみに繋がっていると思える。「腰や足が痛いけど、たまには歩いて参加することが運動になるし、日頃会えない人にも会えるから」と言って下さる。生きがい作りになっているかは、定かではないが、楽しみに生活できることで元気が出て他の事にも一生懸命になれるとしたら、生きがい作りの手助けは出来ているのかなと思う。(参加するたびにおやつを作ってくる人、花や野菜の苗を持ってきてくれる人、そばに来たからと利用者と話をしに来てくれる人・・・これも役割、使命感と思える)

・年度の初めには、ぜんざい会を開催しながら、参加者の意見を聞き、その年の計画を作る。やりたいことをプログラムに入れ、準備から手伝いをして頂く。自分で調べたり、色んな所へでむいたりして達成感を味わう事ができる。

・毎回笑顔であることが一番の楽しみといわれる・地域のひろばに月2回参加することでリズムができて病気をしなかった・今まで顔も知らなかった人達と友達になれてうれしい・一人暮らしで困っている事を話すとひろばに来ている男性の友達が手伝ってくださり修理して下さりお返しにおかずを作ったりしている

ご主人が亡くなり独居になり何もすることがなかったので楽しみになった

もっと地域に出ていくように方針を変えていかないと、効果的にはならない。

映画鑑賞や季節の食事会など地域の方から要望あり。要望に対して行動している事で「作ってよかった」「今度は何を作るの?」と楽しみにして下さっている

学習療法では、週1回の学習だけではなく、ご自宅で毎日実施する宿題もあり、楽しみや生活リズムに繋がっている片もあります。また以前はお化粧をせず外出された方が、交流の場を通して「化粧をするようになった」と話される方もおられ、1つの生きがいに繋がっているように感じています。

工作や郷土料理作り等行い、毎回開催を楽しみにしていると言う意見から楽しみ作りの場になっていると考える。又子供(小学生)達が参加している事で、郷土料理や昔ながらのおやつ等をつくり、子供達へ「教えている」という役を担って頂き生きがい作りの場となっていると考える。

参加している人の中には、「事業所のために参加してあげている」との思いで来ている方も数名いるのでこの事業の趣旨、目的の再度、伝えていくことが必要ではないかと思えます。

事業に参加するのを楽しみにされている参加者も多く、また、参加者同士が交流を図られている。

出席されると楽しんでおられるが、参加者の意見やニーズが考えられていないのではと思う。

色々なことに挑戦できて、楽しくやる気が出てきたとのご意見があり生きがいになっていると思います。

昔の紙芝居の読み聞かせや・鹿児島ならではの食べ物・方言・昔遊びを地域の方達と協力していくなかで・今までみたことない笑顔や声を聴く事ができ生きがいづくりに効果があったと思う

送迎時、参加者からこの日が楽しみだとの声を良く聞く

対話しながら何かを作る楽しさ、一人ではする事のない運動

地域のひろばに参加して下さる方が「楽しみにしている」と言って下さる。

地域の方を知ることができ、楽しんで参加されている

昼食を含めて、毎月楽しみにしている ・作品を家のどこに飾ろうか考えるのが楽しみ ・家族へ自慢できる ・人にあげる楽しみがある

特別、趣味はなくても事業を毎回楽しみにしておられる方も多くいます。プログラム実施後、家でもやってみたいと言われる参加者が毎回1~2名程います。それが趣味や余暇の充実に繋がられたかは不明ですが、自宅に継続的に実施しているとの報告もあります。

問 1 1 「元気高齢者の増加への効果」

事業は、元気高齢者（積極的で行動的な）づくりに効果的であったと思いますか。

		度数	列の N %
元気高齢者の増加への効果	大変効果的であったと思う	8	29.6%
	やや効果的であったと思う	15	55.6%
	あまり効果的とは言えなかった	2	7.4%
	全く効果的とは言えなかった	1	3.7%
	わからない	1	3.7%
	合計	27	100.0%

問 1 1 - ① 問 1 1 に対しての意見等を具体的にご記入ください。

q11-1f

・ボランティア活動に繋がった ・元気高齢者への関心が高まり意識づけになった

・月1回会える、話をすることを楽しみにされるようになる。 ・問10と同じ本人の意見が活用されそれによって動く。

「ここに来るまでは元気がなかった。元気になった。」と言われる。季節の料理や地元色のある料理などを作る際や子どもたちと交流があるときなど手伝いや教えて下さる。

サロンの感じでお茶会のように楽しんでいる。

楽しみに参加している人に対しては、効果的だと思えるし3年の地域のひろばで楽しみの場の提供は出来たと思うが、今後は参加しない、できない人に的を当てた活動が必要と思う。LSWのみの活動でなく、民生委員、福祉アドバイザー、介護相談員、敬老会などの連携も不可欠。

近隣者ですが、病気がありなかなか行けないけど声掛けに答えられ「ひろば」にいけるように頑張ってみると話される方がおられたり本当に楽しみで、参加する事で、元気になったと話される方もいらっしゃる。

継続して来られる方に関しては、友達も増え表情も明るくなっているように感じる。

月1であっても外に出る事、人に接する事ができる

今まで予防拠点で行っていたものを半分以上公民館で実施する事で日頃参加されない方々の顔もみられ広がっている・昨年末の地域連合会の野菜や手作り品提出にも少しでも参加しようという気持ちがわいてきている・地域の方同士の声かけが多くなっている

最近60代後半～70歳代の方が増えた

参加者の方が職員の企画を一方的に受けるだけではなく、「これにしたい」と提案したり、踊りを披露してくれたりした。

参加者は、何事にも積極的に、協力しながら参加されていた。

事業を楽しみにされている分、少しずつはあるが、積極的に参加して下さる面を考えると効果的になっていると思う

事業を通して行動的な高齢者づくりに効果的であると感じていないが、参加者の現状は維持できていると感じている。

持病があるが、ひろばの前日になると体調が良くなり、参加する事ができて、又元気になる。

取り組みでは、学習参加とその参加者を支援するサポーターの方もいるため、サポーターの方が中心となって、学習療法を進めることが出来ました。

積極的で行動的な高齢者の方は事業に興味を持っているが、そうではない方が興味を持って下さると効果が期待できると思う。

地域の潜在的なニーズに対して取り組めていなかった。

地域の方が参加することによって交流が生まれると考えられます

地域の方達が訪問時に自信の畑で収穫した野菜や・手作りの煮しめなどももってきてくださり一緒に食べ「おいしい」言葉をもらって元気になる・嬉しいとよく言って下さる。大変効果的だったと思います

認知症に関しては「まだ良い」と言われる方もいた。

民生委員や運動推進委員の方の参加で効果が得られたのではないかと考える。

問 1 2 「交流の場・機会」

事業は、高齢者等の交流の場又はその機会になっていると思いますか。

	度数	列の N %
交流の場・ 機会		
大変効果的であったと思う	19	73.1%
やや効果的であったと思う	6	23.1%
あまり効果的とは言えなかった	1	3.8%
全く効果的とは言えなかった	0	.0%
わからない	0	.0%
合計	26	100.0%

問 1 2 - ① 問 1 2 に対しての意見等を具体的にご記入ください。

・「ここに来たら会えるから楽しみ」「ここで会って近況報告をしている」といった声。 ・別日に遊ぶ約束も地域のひろばの時にしていた。 ・来所までの間も帰り道も、事業の間も、ずっとしゃべっている。

・お互いの話を聞いたり 話したりと交流を持っている。 ・状況報告の場となっている。

お茶のみやサロンをしながら、みなさんで楽しそうに会話している

なかなか会えない方と会うことが出来たり、数年ぶりに親戚や仕事の同僚に会えた方もいらっしまった

ひろばに参加され、愚痴を話されるだけでも良いのでは

家にいてばっかりだから、このような場があることで、本当に助かりますとの声もあります。（閉じこもりの方ではない）

交流の場として高齢者同士はもちろん職員との交流の場でもありお互いに気付きがあり、楽しい時間でもある。

公民館に月1回集まることで交流の場になっている。

行事に来られる方もあり、利用者様との交流もそれなりにはあるが、効果的とは言えなかった。

今まで長寿会に参加しても知り合いも無く後ろの方に座って発言することもなかったが、1年2年と経過し意見もまとまりやすくなり、公民館の設備追加なども一致した意見が出せた。 ・2週間に1回あうことで民生委員、長寿会長からの連絡や地域の方々の情報もよく入るようになった。

今年度は特にメンバーが固定化しており、事業を通してメンバーに会う事を楽しみにしており「次に又会いましょう」「次も休まないで来てね」等の会話が聞かれている事から効果的であると考え。

参加して、何十年ぶりで出会った！と交流が再会したり、参加した方々の中で、新たな交流も生まれている、3年前のお茶会は、飲み終わったらすぐ帰っていかれた地域の方々が、今は会話が弾んで、なかなかお開きにできず、時間ですと終わりにすることが殆どになった。入院していた人、娘のところに行っていた人が近況が語り合っている。ターミナルケアを行っていた時は、自宅よりアイに来易いと日頃参加する人たちが、入れ替わり立ち代わり、会いに来て声をかけて下さった。

参加者アンケートの参加理由の項目についての記入は「みんなに会いたいから」が半数以上である。他者との交流の場を求めていることを感じます。

参加者には、その都度グループやチームを変えていただき、全員が交流を図れる場になっていたと思う

参加者全員の顔見知り関係ができ、学習後のお茶会では、会話が弾むことも多く、良い交流の場となっています。

参加者同士で交流を図られ、良好な関係を築かれている。

従姉妹同士で参加されている方から「ここに来ないと会うことも殆どない」と声が聞かれている。

知り合った人たちで食事会を開いたりしている。

普段ホームや家族だけの関わりだったのがこの事業を通して様々な年齢層の方と知り合いになれたことが利用者様たちの楽しみにつながっている ・ホームの中では広さが限られているので公民館、公園、福祉の場をつかったの機会も検討する。

普段会う機会のない人と出会える

普段合わない方との交流ができた自発的な参加ができていると考えられている

毎回会うのが楽しみと言われる。休む方がいるとみんなで気にかける様子がある。

問 1 3 「介護予防（身体機能の向上や維持）としての効果」

事業は、介護予防に効果的であったと思いますか。

	度数	列の N %
介護予防（身体機能の向上や維持）としての効果	大変効果的であったと思う	6 23.1%
	やや効果的であったと思う	15 57.7%
	あまり効果的とは言えなかった	3 11.5%
	全く効果的とは言えなかった	1 3.8%
	わからない	1 3.8%
	合計	26 100.0%

問 1 3 - ① 問 1 3 に対しての意見等を具体的にご記入ください。

q13-1f

・介護予防に関する体操は、介護予防拠点という立場から意識的に重点を置いて取り組んでいる。 ・足腰丈夫カレンダーを毎月配布し、回収、コメントをつけて返却する一連の流れで、体操の習慣化を目指している。「体操の習慣がついた」「意識するようになった」などの声が聞かれる。

・自宅から、でて他者と触れ合うことで個々に活気がみられる。 ・「朝起きて出かける服に着替える少しおめかしする。」 「次回までの楽しみがもてる」

意識して動くようになった、畑を始めたのお話もありました。

維持は出来ているが、効果があったかどうかを問われると不明。

介護予防＝体操と言うイメージがあるが人と交わり、心が元気になると、身体機能も自然と向上することを実感できました。

介護予防を主観とした事業作りになっていなかった。

開始前に毎回リズム体操を実施しています。10月中旬からはDVDを観ながら、体操をしていただき、「良い運動になる」との声が聞かれています。

学習療法を通して、脳が活性化が図れ、認知症予防につながっている。

活動的に過ごす事は介護予防につながるので地域のひろばに参加する事は介護予防に効果的だと思う。

月に1回開催では介護予防に効果的とは考えられない

今年度の事業を体操のみで行うに当たり、4月に体力測定を行った。開眼片足立ちが120秒出来た方は2名だったのに対し10月の体力測定では7名の方が120秒をクリされた。参加者への送迎はしないと決めているが30分かけて歩いて来られている。

参加している方は、病気もせず、入院してもまた遊びに来ている。3年継続の方も多い。1人「私は今一番幸せ、昔大きな病気をしたけど、今元気になって映画を見たり、いろんなことに参加できて」と言っておられた方が、徘徊模擬訓練の2日後に夜のうちに息を引き取っておられた。通夜の席で、みんなが羨ましいと言っていた。参加している方々にとっては、効果アリと思う。

参加者への聴き取りやアンケート、今までのプログラム内容から、介護予防、認知症、疾患等の知識について特に必要性を感じておられるようです。

自宅に戻ってからも覚えた事を繰り返している ・指先を使う事で機能維持につながっている

身体機能の向上を目的としたプログラムに積極的に参加されていた

体操に参加されている方から習った体操を自宅でも行い、「腰が痛くなくなった」など参加者からの声もあった

体操教室、運動会等、笑う競う、心身共に動く事よっての良い結果

地域のひろばに歩いてくることがよい運動になり作業療法士から聞いた体操なども続けているといわれる・講話のときのラスト10年をどう生きるかなどで学んだことを参考に食事や体の動かし方も工夫しているとの声も多い。

転倒予防教室、生活習慣病予防教室、認知症予防教室等を通し効果があったと考えるが、介護予防世代の方々の参加が不定期なため、事業の内容、回数（頻度）等再検討が必要である。

認知症予防教室・体操教室等を開催していくなかで地域の方達が「勉強になった～」という言葉がおおくみられた。効果的だったと思う

毎回、体操を取り入れているので身体を動かす機会になっている。しかし、月に1回であるので効果が出ているところまではないと思う。

毎週来ることに対しての時間管理や歩行、調理の手伝い、会話などで無意識に予防につながっていると思われる

問 1 4 「地域活性化への効果」

事業は、地域の活性化に効果的であったと思いますか。（ここで言う地域活性化とは、高齢者以外の人たちの交流を促進させたり、他の事業につながったりすることを意味することにします。）

	度数	列の N %
地域活性化への 効果	大変効果的であったと思う	4 14.8%
	やや効果的であったと思う	8 29.6%
	あまり効果的とは言えなかった	8 29.6%
	全く効果的とは言えなかった	4 14.8%
	わからない	3 11.1%
	合計	27 100.0%

問 1 4 - ① 問 1 4 に対しての意見等を具体的にご記入ください。

・地域の中でグランドゴルフ大会が開催されるようになった参加者も応援者も多くなる<今年2回目> ・イベントの協力者が増えたく餅つき、ソーメン流し、火炊き等、>

60歳代～90歳代、小学生達の交流の場となっている。又住宅型有料老人ホーム等に入居すると地域との繋がりが断たれることが多いが、事業を通し地域の方々との交流を促進できたと考える。

お盆に子供達の帰省合わせて、「ふるさとへ帰ろう」との企画で、一緒にグランドゴルフやそうめん流し、昔の写真を編集してのDVD鑑賞を行い、世代間交流の場になった。 地域の方に竹ぼうき作りの先生になってもらい、みんな竹ぼうき作りができた。

まだ若い方の参加は少ない

もっと地域全体への声掛けが必要

一緒に参加される方や部落の違う方などの参加が良い

講師として来て下さる側も地域の方という事業もある

高齢者以外の方との交流はなかった

子供が集いやすい場には、親、祖父など、みんなが自然と集える環境になることをこの事業を通して実感しました。

事業参加者は、仲良しの口コミで参加している人が多く、自分達で楽しみたいという雰囲気。我々主催者側も「学んだ情報を地域の方々やお友達にへ伝えてください」という依頼の程度。 ・今後は地域の行事の一つに「地域のひろば事業」の企画内容を盛り込むなど考えていきたいと思っている（異世代交流など）

自治会の方で朝のラジオ体操・カラオケ・将棋同好会などが発足しお互いに交流の幅が広がったといわれる

世代間交流や障害者等の交流に効果があったとは思えなかった。 当方人は障害者を対象とした事業もあり、そこから参加してもらうことあったが「参加して歌を歌ってもらった」という程度とも感じた。

地域のひろば事業としての活動を通して、参加者同士の交流は図れていますが、参加者以外の地域住民との交流へ広げることはできませんでした。

地域の方々がサポーターとして協力して下さることで、地域と一緒に取り組んでいる。

地域活性化への取組を行ってこなかったら、検証できない

地域性があり、保守的な地区で独自の取り組みを地区が行っているの、それを損ないたくはないと考えている。

定期的に行っている地域のひろば活動が、直接地域活性化に影響していると考えられないが、3年継続したことで、お互いに理解が深まり、昨年の徘徊模擬訓練に繋がったと考えられる。とても盛り上がり皆が更に仲良くなれたと思っている。が1回で終わっては効果ナシになってしまう。今後は地域のニーズを引き出す為の活動をまず行い、皆で何かを継続していくことが、活性化に繋がるのだと思う

年に2度ほど、子どもたちとの交流もあるが参加者にとっては慣れた環境慣れたメンバーが安心するらしく疲れたとの声も聞かれた。またそのようなときは時間内に思ったほどの交流は望めていない

霧島地区は活性していると思います

来年度、検討していきたいと考えています。

老人クラブの芸能際に施設の入居者様を招待して下さったり、職員が買物しているとあいさつを交わしたり、今の時点では他の事業につながってはいないが接点は増えている。

問 15 「ネットワーク化への貢献」

事業は、地域の関係者とのネットワーク化に効果的であったと思いますか。(事業を通して、他の施設や病院、行政、民生委員や地域包括支援センター等との連携の高まりを聞いています。)

	度数	列の N %
ネットワーク化への貢献	大変効果的であったと思う	5 18.5%
	やや効果的であったと思う	15 55.6%
	あまり効果的とは言えなかった	2 7.4%
	全く効果的とは言えなかった	3 11.1%
	わからない	2 7.4%
	合計	27 100.0%

問 15-① 問 15 に対する意見等を具体的にご記入ください。

・民生委員 包括支援センターを経由しての参加者が増えた 経過を見ていく中で相談しながら進んでくることが出来た。

あまり効果的ではなかった。

これまで地域の民生委員の方や地域包括支援員から紹介があり、連携を取った。今後イベント等あり時は地域の方々にも声かけしネットワーク化を図りたいと思う。

サポーターとして民生委員の方々が一緒に取り組んで下さっています。また、参加者の変化に気付き、包括に連絡を取るなどして介護申請につながったケースがあります。

菊まつりを通じて事業所との親睦が深まりました。また、新たなネットワークの構築もできました。

行政や病因、包括支援センターに講師の依頼をしたことや、自治会長さんへ事業の説明に伺うことなどで、顔が見える関係になり、連携を取りやすくなったように感じることはある。

私のアルバム作成では地域密着型サービス事業所連合会や作業療法士会、地域包括支援センターの応援をもらうことができた。保健師に健康に関する講話を行ってもらうことと、地域のひろば事業を知っていただく機会ができた。

事業に私のアルバムや認知症サポーター養成講座を取り入れた事で連携が高まったと考えるが、頻度が少なくまだまだ充実していない。・民生委員が事業に参加して下さる事で地域の方々の安心感が得られ、参加しやすい場となった。・地域の方がLSWの班活動の話し合いにも出席してくれ関係が作れた。

事業所のみで行ってしまっている

自治公民館長と会う機会が増え、顔なじみになった

地域で困っている人の相談を包括センターにつなげたり出来た。

地域の広場の案内をする時に民生員や包括職員にも協力をお願いして良い反応で協力をもらっている。

同事業者の他施設の方の参加や、民生委員の方が、多数の参加して下さる事で連携が、高まっている。

病院を主としているためか、病院内での連携だけで終わってしまい他との連携がうまく取れていなかった

包括支援センターから、事業の日程の確認があり、担当利用者様に参加を促していいかなどの問い合わせがあります。

包括支援センター職員より参加時の血圧を教えて欲しいと依頼があり。情報提供したことで服薬がきちんとでない事が分かり現状を知らない娘さんや主治医へと繋げることができた。

民生委員、長寿会長は殆ど毎回参加されている。地域の方の情報はその都度入り包括スタッフも時々参加してもらって顔を覚えてもらうようにしています・地域の方が病気の事など話され病院紹介や施設商會もありました

民生委員から地域の方々の意見を聞くことが出来た身近に地域のひろば事業を開催しているこの認知度を高めた

民生委員さんからの紹介も度々あり、また連発を図ることで参加者が継続して地域のひろば事業に参加できています。

民生委員さんは地域の方々に声も良くかけて下し

霧島市（安心安全課）霧島市消防局からの出前講座を開催して頂き、お互いに情報を交換でき更に地域の住民にとってはそれぞれの行政の業務の理解等も深めて頂いたと思います

様々な事業の方と知り合うきっかけづくりになれた

徘徊模擬訓練を地域のひろば事業の一つの結集として捉えれば。霧島地区の事業所の管理。施設長、医師、消防署、警察署、社協、包括、霧島市、自治会、福祉事務所との連携がとれたし協力し合えた、達成感も味わえた。1回で終わらず継続することが必要と思う。

問16 「福祉・介護情報の提供」

介護予防につながる地域資源・福祉の情報収集等に効果的であったと思いますか。

		度数	列の N %
福祉・介護情報の提供	大変効果的であったと思う	4	15.4%
	やや効果的であったと思う	10	38.5%
	あまり効果的とは言えなかった	2	7.7%
	全く効果的とは言えなかった	1	3.8%
	わからない	9	34.6%
	合計	26	100.0%

問16-① 問16に対しての意見等を具体的にご記入ください。

70歳代の方々が何人かボランティアとして参加くださっているが自主的に動いてくださりその方々にとっても介護予防になっている。介護保険ボランティア・ポイント制度も利用されそのための情報収集・情報交換をされる。

あまり効果的とは言えなかった。

だれがどんな特技や趣味を持っているなどの情報が得られた

ひろば事業の参加者が配食、入浴などの地域資源を教えてくださいました。

まだそこまで考えながら行う事が出来ていない

介護保険学習会の実施や、複数の種類の介護保険事業所に協力をいただき実施した事業部見学ツアーにより、介護保険事業所の周知に加え、相談窓口の周知、偏見の解消等はできたと思います。

介護予防の資源としては最高の場だとは思われるが、もっと参加者からの相談の場や、情報収集が必要

近隣の独居高齢者の把握ができた。

支え合う取組まで情報交換ができていない

事業後に必ず茶話会を行い何かしら提供収集できているのでは？

事業所（施設）の敷地内で活動を行っているため、どのような福祉施設であるか尋ねる方もおられました。

職員が参加することで、身近に聞ける場所となっている。

専門の方に来ていただいて話をきくことで納得されることがありました

地域のひろば事業をしている他の事業所がどのような事業をしているのかが見えない。

地域の高齢者が日頃どのような集まりに参加しているのか事業に参加された方から情報はもらえるが、その情報をつなげていない。（活していない）

地域資源や、介護保険、介護予防についての質問があった。 ・地域の方が知りたいと思われる内容を聞き取り、企画してきている。

認知症サポーター・私のアルバムを通して、情報収集・相談に繋がっているから

問8-1に記入した相談に応じプログラムの中に取り入れた事で参加者に情報や知識等をフィードバックできたと考える。

料理教室を行う日は午後から、高齢者の学習の場として計画している。介護保険、在宅医療、健康関すること、今年度は霧島市の出前講座で、高齢者のDV KYT 火災予防など色々勉強して下さり、それなりに感想も頂いた。徘徊模擬訓練で高齢者向け認知症サポーター養成講座を行い、とても興味深く話を聞いて下さり、色々な情報提供としてはやや効果があったのではと思う。

問 17 「福祉・介護情報の啓発」

事業は、認知症に対する理解が深まり、やさしい声かけ、見守りができるなどで効果的であったと思いますか。

	度数	列の N %
福祉・介護情報の 啓発	大変効果的であったと思う	6 24.0%
	やや効果的であったと思う	15 60.0%
	あまり効果的とは言えなかった	2 8.0%
	全く効果的とは言えなかった	0 .0%
	わからない	2 8.0%
	合計	25 100.0%

問 17-① 問 17 に対しての意見等を具体的にご記入ください。

グループホームで開催する事で参加者の方で認知症について質問もある

たけちゃん一座の講演や、認知症の講話などは積極的に開催していたがグループホームとの関わりがないため効果的とはいえない

ひろば事業に参加することによって小規模多機能ホームを知ることが出来た

ひろば事業の時間帯だけでなく日常生活の中でも行き来ができてきたり、自主的に認知症のある方に連絡を取ってくださったりしている。

運動会等では参加者の方々が自ら入居者にそれぞれ付いて下さっている

学習療法を取り入れていることから、認知症予防に対する意識を高く持たれているようです。直接、事業所の利用様と交流を持つ機会があまりなかった点は、今後の課題と感じています。

関わりの中で、ボランティアの方々の介護予防に対する理解をもらえたと考えられる。

季節の食事会など高齢の方、認知症を持たれている方から教わったり一緒に作ったりする場ができ、接する場ができた分、理解も深まった

参加者の中で認知症初期と分かった方への声かけや見守りに注意が必要と声が聞かれた。

事業所での医師による講話を行ったことがあったが、その時は地域の方も参加していただき、質問などもあった。

入居者様と地域の行事等に参加時の声掛けやお手伝いを通して感じた。

認知症サポーター講座を企画し、優しい見守りや超えかけに繋がる理解も、多少は深まったと思う。一方で、認知症予防講座などの認知症の話を書くことで「認知症はなったらたいへん」「ならないように」と、自分に置き換えて認知症をますます絶望的で恐ろしいものにとらえたような態度を聞くこともあった。

認知症サポーター養成講座やどけいったろ廻などへの参加などを得てずいぶん接し方がわかってきた。近くで徘徊者がいたら自分達で連携して自宅まで送り届けたりしたことが数回ありました。地域の中でも要注意者を大体把握されています。

認知症サポーター養成講座や認知症をテーマにした映画鑑賞を行ったが、それ以後どのような変化があったかまでは検証していない。

認知症サポーター養成講座や認知症をテーマにした映画鑑賞会などで、理解は深まったと感じています。プログラムの途中で認知症について質問があることもあります。やさしい声かけ、見守りができる効果が出ているかは不明です。

認知症に対しては、一人でも理解が深まって行けば良いのではないかと。

認知症に対する理解を深めるプログラムを実施できずにいる。

認知症の勉強会、認知症の寸劇、実際に認知症の方が事業に参加し交流する機会を設けた事で認知症の理解が深まったと感じる。実際に地域に住む認知症の方が散歩をされている時に見守って下さったり、いつもと違うコースを歩いていたら連絡を下さるようになった。(まだまだ、小さな区域ですが)

認知症の方に対する理解・ホームの取り組み理念についての理解が得られたと思う

認知症講座等や認知症のDVD鑑賞を企画することで、認知症についての学習の場ができた。後日、認知症の方の家にいき、「これまで大変でしたね」と労わる声かけをしたとのことであった。

毎年開催しているサマーキャンプの内容に小学生を対象にした認知症サポーター養成講座を行っている。その効果もあり、利用者に対しての子供に対しての子たちの対応が年々良くなっているように感じます。

理解は深まったと思うが、ひろば事業での協働作業は難しい

料理教室では、利用者と一緒に調理して頂くが、できることを探して一緒に楽しんで下さる。お茶のみの時も、そばに寄り添ってよく分かるように話かけて下さる。だがもしかしたら、まだまだ上から目線の見方が強いかもしれない。が良く溶け込んでおられる。

問18 事業は、その他の効果として以下のような効果がありましたか（複数回答）

上記以外の効果として主なものは、「地域の方が事業所に足を運ぶようになった」64.0%、「事業所の活動に協力をもらいやすくなった」56.0%、「地域の行事に参加しやすくなった」「地域貢献が実感できるようになった」がともに44.0%である。

	度数	列の N %
その他	16	64.0%
の効果	11	44.0%
	14	56.0%
	11	44.0%
相談が増えた	3	12.0%
利用者が増えた	6	24.0%
その他	5	20.0%
特になし	1	4.0%
合計	25	100.0%

q18c17f

その他
<p>どのように運営していくか課題である。その場限りの楽しさだけで終わらないように目的に沿っているのか？など意識しておかなければならないと感じている。</p> <p>事業所を知ってもらえた。地域を知る事ができた。</p> <p>野菜、古新聞、不必要になった介護用品等の頂き物連絡先が増えた</p> <p>利用者の表情が明るくなった。スタッフの挨拶が良くなった。</p>

問19 事業に関し、ご意見があればお書き下さい。

事業に関するご意見

「地域のひろば」を今後1人でも多くの方が参加され地域全体がもっと元気になれるようなものにしていきたいと思えます。もっと〇代を広げていきたい

3年目に入り、少しずつ地域の方々との交流が持てるようになったが、まだまだ周知されていないと思えます。自分達の努力不足が1番の要因と考えますが、もっと行政等が市民に情報を発信して頂ければ市民の方も安心して参加して頂けるのではと思います。（どうしても個人の事業が行うと営利目的と思われがちなので）・教育委員会を通じ、小学校、中学校、高校と連携を図り、子供の頃からこうした活動と一緒にあったり内容を知ってその子供が大きくなる事を考えると私も安心して年を取って行けます。

サロンの内容でできない事など他の方が手伝いされたりしている（少し若い方など）

ひろばの開催がまだまだ周知されていないと思えます、もっと高齢者すべての世帯への広報が必要

ひろば事業を開催しもうすぐ3年が経ちますが、現時点で再度ひろば事業の趣旨、目的を整理し、新たな気持ちで事業を続けていきます。また、事業所側が段取りをしすぎると住民の方々の意欲が低下するので、意欲を高めるための段取りの仕方や内容を住民の方々と一緒に考えて取り組んでいきます。

まだまだ参加費(者)が少なく固定されているのでいろんな方が楽しく参加できるように頑張っていきたいと思えますもっと充実した内容と参加人員増加に頑張りたいと思えます

意見は無いが、当事業所の取り組み方針が正しくないと思われる。当初は受託しない方向でありながら、経営者サイドから受託を強く言われ、内容もL SWや職員の考えるものとは違うものでありながら、受託したいという非常に低いモチベーションの中に行っている面がある。このような状況の中、来季は事業所内の行事とは基本的に切り離し、地域の中で行うように事業所内や法人への周知を行い、計画を立てている。職員数が不足しており、事業をやっているか不安な面もあるが、職員の中にも面白い考え方も見られ、周囲にも事業所が点在しており、差しあたっては、今年度中の試行も含めて方向性を転換し、来季も続けていきたいと思う。

一昨年12月より、事業を開始し、まずは事業所と事業を知ってもらうことを優先したため、元気な高齢者向けで、女性が好むプログラムになっており、男性参加者が少ないです。また、地域の閉じこもりの方や要援助者へのアプローチが中々できていない状況で課題としてとらえられています。

元気な高齢者にとっては楽しみの場となっている。閉じこもりの高齢者が誰かとつながる場や機会を元気な高齢者を通して持てるような事業を考えて実施していければと思っています。

事業として場所と機会を提供することで、地域の中の事業所として地域に貢献できているように感じる。

事業に関しては特にありませんが、個人としてなかなか余裕がなく開催できませんでした。来年度はスタッフの協力を得ながら計画し実行できればと思えます。

事業所と地域の関係が近くなったと感じた。職員が地域に出て、それぞれ企画、運営することで、地域の方々に喜ばれ職員のやりがいにも繋がっている。地域には昔あった行事（忘年会や花見等）ができなくなっていたが、段取りをする人がいれば、参加でき、楽しみが持てるということがわかった。自治会単位で活動をするのが人は集まりやすいと感じた。公民館で実施することで、地域の実情が見えてきた。公民館が年1、2回しか利用されなかったのが、再び人が集まる場所として利用されるようになってきた。

地域の方々の健康作りに貢献できている（健康講座2か月に1回実施）

町内で地域のひろば事業をしているところが限られており、遠方で交通手段がなく参加できない人がいる。送迎の問題が大きい。

当ホームは本年度6月よりスタートいたしました地域の方々の協力のもとになんとか今に至っております。最近ではすっかり顔ぶれが決まった感じではありますが、「あれがやりたい！こんなもあるよ」とか、皆さんで会を盛り上げて頂いております。当ホームの入居者との交流も了承を得て新年度に計画する予定です。先々は当ホームを中心に地域全体がお互いに声掛けの思いやりができるようになれば・・・と考えております。スタッフが計画するのではなく、住民主体の「ひろば」になるよう進めて行きたいと考えています。グループの協力を仰ぎながら邁進して行けたらと存じます。これからも宜しくお願いします。

3. 開催回数と事業効果

(1) 開催回数2分類と事業効果が想定される項目

ほとんどの項目で、月1回よりも月2回以上の事業所の方がそれぞれの項目についての評価が高い。

報告書

	月平均の開催回数					
	月1回		月2回以上		合計	
	平均値	度数	平均値	度数	平均値	度数
閉じこもりの防止	2.0909	11	1.5000	10	1.8095	21
楽しみや生きがいづくりへの効果	1.6667	15	1.7273	11	1.6923	26
元気高齢者の増加への効果	1.9286	14	1.7500	12	1.8462	26
交流の場・機会	1.4286	14	1.1667	12	1.3077	26
介護予防（身体機能の向上や維持）としての効果	2.1538	13	1.7500	12	1.9600	25
地域活性化への効果	2.6154	13	2.3636	11	2.5000	24
ネットワーク化への貢献	2.3077	13	1.9167	12	2.1200	25
福祉・介護情報の提供	2.3333	9	1.6250	8	2.0000	17
福祉・介護情報の啓発	2.0000	11	1.6667	12	1.8261	23

※点数が少ない方が効果が高いと評価している。

(2) 開催回数2分類と相談の有無

また月の回数が2回以上の方が利用者からの相談や要望が多くなっている。

月平均の開催回数と相談や要望のクロス表

	相談や要望		合計
	たまにある	ない	
月平均の開催回数 月1回	7	7	14
月平均の開催回数 の %	50.0%	50.0%	100.0%
月2回以上	11	1	12
月平均の開催回数 の %	91.7%	8.3%	100.0%
合計	18	8	26
月平均の開催回数 の %	69.2%	30.8%	100.0%

4. 参加者数と事業効果

サロン参加者数によって項目の評価をみてみたが、「6人から10人」、「11人から15人」の категорияが最も評価が高かった。このくらい的人数が事業としての効果を実感できると言えそうだ。

報告書

	回の参加人数											
	5人以下		6～10人		11～15人		16～20人		20人以上		合計	
	平均値	度数	平均値	度数	平均値	度数	平均値	度数	平均値	度数	平均値	度数
閉じこもりの防止			2.1667	6	1.5455	11			2.0000	4	1.8095	21
楽しみや生きがいづくりへの効果	2.5000	2	1.5714	7	1.5455	11	2.0000	2	1.7500	4	1.6923	26
元気高齢者の増加への効果	2.5000	2	1.7143	7	1.8333	12	2.0000	1	1.7500	4	1.8462	26
交流の場・機会	2.5000	2	1.3333	6	1.1667	12	1.5000	2	1.0000	4	1.3077	26
介護予防（身体機能の向上や維持）としての効果	4.0000	1	2.0000	7	1.6667	12	3.0000	1	2.0000	4	1.9600	25
地域活性化への効果	4.0000	1	2.1667	6	2.1818	11	3.0000	2	3.2500	4	2.5000	24
ネットワーク化への貢献	4.0000	1	1.8571	7	1.9167	12	2.0000	1	2.7500	4	2.1200	25
福祉・介護情報の提供	4.0000	1	1.3333	3	1.7778	9	2.0000	1	2.6667	3	2.0000	17
福祉・介護情報の啓発	2.5000	2	1.8000	5	1.6667	12	2.0000	1	2.0000	3	1.8261	23

以上